

令和2年度 租税教育実践発表会

石巻地区租税教育推進協議会

租税教育推進協議会長挨拶

長い歴史を持つ租税教育実践発表会ですが、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送らせていただき、租税教育の実践結果の冊子を作成し、各校へ配付する運びとなりました。本冊子を発行するにあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

石巻地区租税教育推進協議会は、「教育関係者及び税務関係者が協力して、児童・生徒及び一般人に対する租税教育の推進を図る。」ことを目的として、租税教育用教材の提供や租税教室の開催の支援を基幹に様々な事業を展開してまいりました。

その中でも、「租税教育実践発表会」は、当協議会が発足した昭和57年度から開催しており、地域にも誇れる特色ある事業です。

前述のとおり本年度は中止せざるを得ない状況となりましたが、発表会は、教育現場の第一線で御活躍される教員の皆様に、租税教室を実施する上での参考としていただき、より一層充実した租税教室の開催に資するものとして、大変有意義な機会であると認識しております。

租税教育は、国及び地方自治体の財政や租税の意義・役割を正しく理解することで、社会の仕組みを知り、感謝の気持ちを育み、いずれは税を通して社会に貢献する意識を持った人間に成長していくための一助として、必要なものであると認識しており、さらに、税金の使われ方や使いみちについて関心を高めていくことにより、選挙を通じて自分の意思を政治に反映させるという、主権者教育の一つとして、とても意義深いものであります。

資料の御提出をいただいた、前谷地小学校の梶原先生、赤井小学校の豊原先生、北上中学校の三浦先生、湊小学校の相澤先生、渡波小学校の佐々木先生、大街道小学校の鎌田先生、住吉中学校の木田先生には、大変お忙しい中、素晴らしい資料を作成していただきました。当協議会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

この冊子を通じて、租税教育の輪が広がり、次代を担う子供たちが税に対する正しい知識を身に付けるきっかけになればと、切に願う次第であります。

会長（東松島市教育長） 志小田 美弘

実践発表会資料

石巻市立前谷地小学校

教諭 梶原美佳子 1

東松島市立赤井小学校

教諭 豊原麻弥 5

石巻市立北上中学校

教諭 三浦和彦 13

石巻市立湊小学校

教諭 相澤洋之 19

石巻市立渡波小学校

教諭 佐々木大樹 24

石巻市立大街道小学校

教諭 鎌田雅子 31

石巻市立住吉中学校

教諭 木田昌子 36

令和2年度

租税教室実践発表会資料



石巻市立前谷地小学校

教諭 梶原 美佳子

1 はじめに

社会科の学習で既に税の仕組みについて学んでおり、社会生活を営む上ではなくてはならないものという認識はある。ただ、自分たちの身近なもの全てが税と関係していることは、実感がない様子である。今回の学習を通して、生活に欠かすことのできない税についての知識を深め、社会を構成する一員としてこれからの国の経済を支えていく存在であることに気付かせていきたい。

2 児童の実態(第6学年児童 男子7名 女子10名 計17名)

社会科の学習の「国の政治のしくみと選挙」で、1学期に税の仕組みについては学んでいる。今回は、その学習を踏まえて、租税教室の実施にあたりアンケートを行った。

令和2年10月実施

1 「税金」は必要だと思いますか。それはなぜか、理由も書いてください。

必要だと思う・・・16名

- ・日本の経済が回らないから。
- ・税金で学校などの建物を建てているから。
- ・教科書などが配られないから。
- ・病院とかのお金が高くなる。
- ・救急車などが呼べないから。
- ・学校に行けなくなると思う。

必要ないと思う・・・1名

- ・物の値段が高くなるから。

2 税金について疑問に思うことや分からないこと、聞いてみたいことを書いてください。

- ・税金は、何が一番使われているのか。
- ・なぜ、税金が作られたのか。
- ・税金がなくなったらどうなるのか。
- ・店などで集めた消費税はどうやって国に届くのか。

以上の結果から、1学期に行った税の学習により、税金を納めることの必要性を感じている児童が多いことが分かった。しかし、実際の活用については十分に理解していない。自分たちの生活との関連を理解し、社会の一員としての意識を高めていけるようにしていきたい。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、次の2点に留意し学習を進めていく。



- ①「消費税」など、自らも納税者の一員であるということを自覚させ、税金の活用のされ方について興味を持って学べるようにする。
- ②税金についての正しい知識が得られるように、具体的な例を明示し、実感できるようにする。


4 実践内容

【租税教室】「私たちの生活と税金」

実施日 令和2年 10月8日(木)

実践の様子

	主な学習活動	学習の様子, 児童の反応
導入	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">税金について知ろう</p> <p>2 ゲストティーチャーの紹介。</p>	
展開	<p>3 石巻税務署の方の話聞き, 税金について考える。</p> <p>4 税金について知る。</p> <p>○税金がどんなものに使われているかを考えさせる。 「オリンピックの報奨金に税金はかかるでしょうか。」 →「税金はかからない」</p> <p>○税金の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本には約50種類もの税金がある。 <p>○税金の使われ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんなものに税金が使われているか。 ・税金で作られた場所や建物などにはどんなものがあるか。 ・自分たちの生活の中で税金が使われているものは何か。 <p>5 DVDを視聴し, 税の必要性を考える。 「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴し, 税金がなくなってしまった社会の様子はどのようなものか考える。</p> <p>○石巻市の税金の使い道について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策や復興に多くの税金が使われている。 <p>○国民の三大義務について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税の義務がある。 <p>○税金の使い道はどのようにして決めているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙で選ばれた国会議員が話し合って決めている。 	<p>・全員が「税金がかかる」と予想した。</p>  <p>・税金の種類がたくさんあることを知る。</p> <p>・学校や教科書などが税金で賄われている。</p> <p>・税金がない生活は困ることがたくさんあることを実感する。</p>  <p>・ごまかしや, 未納は罪になることを知る。</p>

	<p>6 現在の日本の社会で課題となっていることについて考える。</p> <p>○令和2年度のコロナ対策費について知る。</p> <p>「国が行う令和2年度の新型コロナウイルス対策に税金は使われている？」</p> <p>→「税金は使われていない」</p> <p>・今年度の税の使い道は決まっていたので、新型コロナウイルス対策にかかる57兆円は借金するしかない。</p> <p>7 1億円のレプリカでお金の大切さを知る。</p> <p>・税金などに使われるお金のレプリカに触れることで、お金を有効に使うことへの意識を高める。</p>	<p>・みんなの願いを生かすためには、選挙に参加することが大切である。</p> <p>・全員が「使われている」に手を挙げた。</p> <p>・日本の経済は大変な状況にある。</p> <p>・税金がないとこれからの対策も難しい。</p> 
<p>まとめ</p>	<p>8 学習のまとめをする。</p> <p>○税金の必要性を実感し、納税者の一員としての自覚を持つ。</p>	<p>・税金は自分たちの生活に必要なものだを知る。</p>

5 成果と課題

【成果】

- 税務署の方に来ていただき、多くの具体的例をもとに話をしていただいたので、税に対するの関心を深めることができた。
- DVDの視聴や1億円のレプリカなどの活用により、児童が大変興味を持って学習に取り組めた。
- 最近の社会全体で話題となっている新型コロナウイルス対策やオリンピックに関することにも触れて話を進めていただいたので、児童の興味を引きつけ、学ぶ意欲につながった。

【課題】

- 事前のアンケートから、税金について質問したいことなどが上がってきたので、今後その疑問にも答えていただけるように連絡を取り、指導を進めていく必要がある。

令和2年度

租税教育実践発表会資料



東松島市立赤井小学校

教諭 豊原 麻弥

1 はじめに

学習指導要領では、『「税金の役割」について、租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることを理解できるようにする。その際、限られた財源をどのように配分するのかを決める責任は、国会や地方議会などの制度を通して、国民や住民にあることに触れるようにする』と定義されている。

私たちが健康で文化的な生活を送るためには、税金は必要不可欠なものである。しかし、公共サービスや教育などで直接関わる場面は多いが、それが税金によって賄われていると理解している児童は少ない。また、税金が使われている場面を言葉として理解していても、実際に目に見えない所で使われることが多いため、実感が伴っていない状況である。今後、納税者となって社会を支えていく立場になる児童に、税金に対する関心を高めさせ、自分事として捉えさせたいと考え本実践を計画した。

2 児童の実態

本学級は、男子15名、女子16名、計31名が在籍している6年生の学級である。今年度から、社会科の学習の配列が変わり、1学期に、納税が国民の三大義務の一つであることや、税金が生活を支えていることについて学習済みである。税に関する知識がどの程度定着したのかを判断するため、租税教室実施後に税に関するアンケートを行った。結果は以下の通りである。

1. 「租税教室」をして、どのようなことを考えましたか。
 - ・大切なもの（9）
 - ・必要、生活の役に立っている（5）
 - ・なくなったら大変（5）
 - ・公園、信号などいろいろなところで使われている（3）
 - ・1億円が重かった（3）
 - ・税に意味がある、税金はちゃんと納めよう、自分も払っている（各1）
2. 税金にはどんな種類がありますか。
 - ・消費税（29）
 - ・所得税（21）
 - ・自動車税、固定資産税、法人税（各5）
 - ・実在しない税（7）
3. 税金はどんなことに使われていますか。
 - ・公共で使うもの（学校、公園など）（17）
 - ・道路や信号、道路の修復など（14）
 - ・消防、警察（8）
 - ・病院、介護など（7）
 - ・学校で使うもの（6）
 - ・世のため、人のため（3）
 - ・復興（2）
4. 税金の使い道を決めているのは誰ですか。
 - ・内閣（8）
 - ・総理大臣（7）
 - ・国会（5）
 - ・えらい人（5）
 - ・税務署、銀行、分からない、自分たち（各1）
5. 税金について知りたいことを書きましょう。
 - ・消費税やその他の税金の使われ方（6）
 - ・税金の歴史（5）
 - ・税金の種類（2）
 - ・税率はなぜ上がるのか（3）
 - ・軽減税率について（2）
 - ・世界の税金の使われ方（1）
 - ・税金が少なくなったらどうするのか（1）

児童は、「租税教室」を通して、社会科の学習で得ていた税金についての知識を再確認することができたようである。様々な税金の名前が挙がり、関心の高さがうかがえる。しかし、税金が公共のために使われていることは知っていても、自分が納めている消費税との関連性を考えている児童は少ない。児童は自分の生活に関わる消費税に対する関心が高く、近く予定されている修学旅行での買い物の計画や、GOTO トラベルの適用で旅行代金が安価になったことも関心を高めている理由の一つであると考えられる。また、生活の中で消費税を払う際に、軽減税率について疑問に思う児童も多かった。

3 社会科との関連

政治・国際編	歴史編
<ul style="list-style-type: none"> ●国の政治の仕組みと選挙 <ul style="list-style-type: none"> ・国会の働き ・選挙のしくみと税金の働き ●子育て支援の願いを実現する政治 <ul style="list-style-type: none"> ・市議会の働き ・税金の働き ●震災復興の願いを実現する政治 <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興に向けた国の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●天皇中心の国づくり <ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新と天皇の力の広がり ●武士の世の中へ ●戦国の世から天下統一へ <ul style="list-style-type: none"> ○江戸幕府と政治の安定 ○明治の国づくりを進めた人々 ○世界に歩み出した日本



●：既習事項，○：未習事項

4 指導にあたって

児童の実態から、以下のことに留意して学習を進めていく。



- ・ 修学旅行のお土産代や義務教育期間の学費など、身近な題材から税金を考えるようにさせ、税金と自分たちのくらしが密接に関わっていることを感じ取らせる。
- ・ 消費税と深い関わりを持つ社会保障費について理解し、税金の必要性を感じ取らせる。
- ・ 税金の歴史など、興味があることについても触れ、必要に応じて変化する税制の仕組みなどにも関心が持てるようにする。


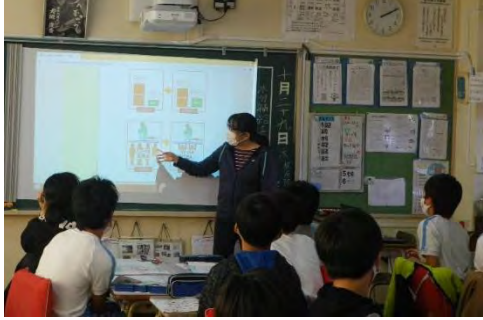
5 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	主な学習活動
1	自分たちのくらしと税金の関わりについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税務署よりゲストティーチャーをお招きして、租税教室を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

1 (本時)	自分のくらしと税金との関わりを確認する。	・租税教室で学習した内容を確認し、自分たちの生活と関連付けながら税金と自分たちの生活が密接にかかわっていることを理解する。
-----------	----------------------	---

6 学習過程

段階	学習活動	教師の支援・指導上の留意点
導入	1 租税教室の振り返りとして、「税金クイズ」に取り組む。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自分たちのくらしと税金について考えよう</div>	「わたしたちのくらしと税金」表紙。 アンケート結果を提示する。
展開	3 税金の種類を知る。 ・消費税以外にも自分が納めている税金があることを知る。 4 税金の使いみちを理解する。 ・消費税は社会保障費（みんなの健康や生活を守るための支出）に使われることが多いことを知る。 ・自衛隊の活動も税金で行われている→ブルーインパルス 1 回の展示飛行は約 360 万円。 5 学校と税金の関わりを調べる。 ・義務教育期間で一人当たり約 8,301,000 円かかることから、1 億円では 12 人分の学費にしかならないことを知る。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"></div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"></div> 6 税金の使いみちの決め方を知る。	国税庁 HP「税の学習コーナー（発展編）」（税の種類と分類）「わたしたちのくらしと税金」P8 ・社会保障費が全体の 1/3 であることを見つけさせる。 ・宮城県の予算のうち 16.4% が教育費であることを知る。 ワークシート 「わたしたちのくらしと税金」P6 ・国民の代表者や住民の代表者が話し合っ決めて確かめる。

	<p>7 身近な消費税を計算する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の小遣い 5,000 円分買い物をしたら、消費税はいくら納めたことになるか友達と協力して計算する。 ・自分の小遣いのうち、355 円が国へ、100 円が県へ納められることを知る。 <p>8 納税の歴史を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金がお金になってよかったことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの中の「税の使いみちを決めるのは自分」という意見が実は大切な考え方であることを知らせる。 <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率について簡単に説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちのくらしと税金」P9 ・安定した税収につながることを、平等性などのメリットを考えさせる。
<p>まとめ</p>	<p>9 将来の税金について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障費が増えていること、消費税の増税分が当てられていることを知る。  <p>10 学習の振り返り</p>	<p>国税庁 HP「税の学習コーナー（入門編）」データ集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで社会を支えていく必要があることを理解できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを記入する。

7 児童の感想

税金にはあまり興味はなかったけど、改めて大事だと思った。税は昔からあるものでたくさんの税の種類があっておもしろかった。中学校に入ると約800万もかかって11ることには結構おどろいた。ちゃんと税金を納めようと思った。

私は税の事を聞いて、(自分は損してんねー)と分かったけど、本当は分かっていなかった。1億円は大きい額だと思ったのに、小中学生たのたの12人分では少ないとは...と思いました。これから税金を払おうと改めて思いました。

国の税金で道路や住宅ではなく一番教育費が多いという事を初めて知りました。大人なても、しっかり税金をはらって仕事をしたいです。

私はあまり税金は関係ないと思ってたけど、すごくたくさん種類があってびっくりしました。実際は私たちが税金を払っているんだと思いました。

税の学習をして税金の大切さに気がきました。もし税金が無かったら、今の生活は完全にこわれてしまうと思いました。前は税金が無い方が暮らしが楽になると思っていました。なぜなら税金をつくらなくて、結局は自分たちのお金だから意味がないと思っていたからです。しかし、税金によって自分の生活が救われていることにおどろきました。でも、税金は上手に使わないと社会や経済のほうがいにつまらなくなると思いました。今の内閣総理大臣に上手にほってほしいです。そして、自分もお金を大切に使う、

8 まとめ

- 宮城県租税教育推進協議会の資料「わたしたちの暮らしと税金」や国税庁のHP「税の学習コーナー」を活用して、クイズ形式で内容を整理したり、新しい情報を基にしたりしながら学習ができた。
- 社会科の授業で、国の予算の決め方や税金が公共事業に使われることなどは学習済みでも、自分の身近な存在であるという認識は薄かったが、今回の学習を通して意識化を図ることができた。特に教育費や消費税の学習では、自分たちの学校生活が税金によって成り立っていること、自分たちも税金を納めていることに気づき、その大切さを実感する良い機会となった。
- 今年は感染症対策に税金が使われることが多く、TVやインターネットなどの情報をよく見て、関心を持っている児童が多かった。自分たちの納めた税金が、必要なことに使われるためには、信頼できる人を選んで投票することが大切であることに気付くことができた児童が多かった。

自分たちの生活と税金

名前（ ）

1. 小学生一人が6年間にかかる教育費は

約（①100万円 ②250万円 ③500万円）である。

中学校3年間では約（ ）万円

ということは・・・

小学校入学から中学校卒業までにかかる学費は（ ）円

1億円→（ ）人分

2. Aさんは修学旅行へ行って、おみやげ代として5,000円払いました。

Aさんが払った消費税は、いくらですか。

計算

Aさんが払った消費税は（ ）円

そのうち 78%が国へ→（ ）円

22%が地方へ→（ ）円

メモ

税の学習をして分かったこと, 気付いたこと, 考えたことを書きましょう。

令和2年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立北上中学校

教諭 三浦 和彦

1 はじめに

生徒はこれまで日本国憲法及び基本的人権について学習し、国民が納税の義務を負うこと（憲法第30条）を学んだ。

租税は、政府が健全な経済活動を行っていくために欠かせない主要な財源であり、国民あるいは地域住民が納税を通じて国や地方公共団体を支えることは受益者として当然のことである。このことをやがて社会を支える立場になる中学生が理解することはとても大事なことである。

しかし、個人個人で収入は異なるものであり、租税の負担能力には大きな差が生じる。したがって、税制は消費税などのように一般に広く負担を求めたり、所得税などのように支払い能力に応じて負担を求めたりして、公平を重んじて仕組みがつけられている。本時の授業では、このことを税制の基本として理解させたい。

また、中学生には消費税の担税者としての自覚をもち、消費税やその他の租税に対する関心を高めてほしい。このため、未熟ではあっても税に対する彼らなりの意見や素朴な疑問などの本音を引き出し、できる限りこれらの声をもとに学習を展開し、租税の仕組みや課題などを考察させてみたい。

租税と財政の関係については、1月中旬に経済領域の単元で扱う予定であり、本時の授業は既習の納税の義務について補充・深化を図る学習として位置付ける。

2 生徒の実態

租税教育の実践にあたり、税に関して簡単な事前アンケート調査を行ったところ、結果は以下の通りであった。

<事前アンケート結果>

対象：3年1組男女15名

問い1 税にはいろいろな種類があります。あなたはどんな税の名称を聞いたことがありますか？

(複数回答可)

消費税12人 所得税7人 自動車税4人 関税1人 宿泊税1人

土地税1人 ペット税1人 環境税1人

国税1人 住民税1人 納税3人 脱税1人 税金1人

珍税1人 ひょうい税1人 国民税1人 人間税1人 無回答1人

問い2 問い1で答えた税は、どのような内容の税だと思っていましたか？簡単に書いてください。

(課税の対象や徴税者などについて知っている、あるいは想像していたこと)

消費税について ・物を買う時、国民みんなが払う。3人

・買い物した時、お店に8%か10%の税を納める。2人

・物を買うとプラスでお金がかかる。2人

・物やサービスなどを消費する際にかかる税。1人

・国が負担するお金（医療費や保険など）の源。1人

所得税について ・給料（所得）から引かれる税。1人

・給料をもらったからちょっと取られる。1人

自動車税 ・駐車場と軽自動車。1人

国税について ・国が負っている公務の経費。1人

無回答4人

問い3 これから税の仕組みについて学習し、税に関してあるテーマで討論する学習を行います。

どんなテーマを希望しますか？

A 税の公平性（税の集め方、税率など）6人

B 税の使い道（国税と地方税とのバランスや用途）7人

C その他（具体的に）0人

無回答2人

税目については、15人中12人の生徒が消費税を挙げることができた。しかし、名称程度は知っているものと想像していた所得税は半数以下の7人、自動車税はわずかに4人であった。歴史的分野で学習した関税、新型コロナウイルス第一波と同時期に県内のニュースで話題に上った宿泊税に至ってはどちらも1人に過ぎず、税目に対する生徒の予備知識や関心は大変心許ないものであった。

また、消費税の内容について、消費税率10%と軽減税率8%を挙げた生徒はわずかに2人で、他の税に関しても理解や関心が希薄であることがうかがえた。

税に関する討論のテーマについては、公平性と使い道とそれぞれ半数ずつに分かれた。

3 指導にあたって

生徒の実態を踏まえ、網羅的に多様な税目や内容を扱うことは避け、生徒にとって最も身近な消費税と7人が名称を挙げた所得税の2つに焦点をあてて本時の学習を展開する。

税制一般については、国税庁ホームページ「税の学習コーナー」発展編（中学生向け）の効果的な学習資料を適切に活用して、生徒の理解を深めるようにする。

消費税については、レシートをもとに消費税率と軽減税率の課税対象の違いを確認させ、課税方法の公平性や問題点を考察させて、消費税に対する理解を深めさせたい。

また、所得税については、課税所得が330万円と331万円の2つの場合で納税額にどれだけの差が生じるか、計算によって比較させる。これにより、課税所得の差に対して納税額の差が適正に調整される超過累進課税が、合理的で公平な課税方法であることを理解させたい。

消費税と所得税それぞれの課税の仕組みや公平の考え方が理解できれば、他の税目やそれらの課税の仕組みについても、いくつかは類推して理解することができ、関心を高めることができると考える。

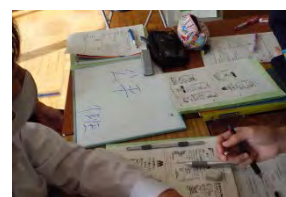
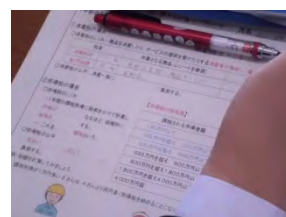
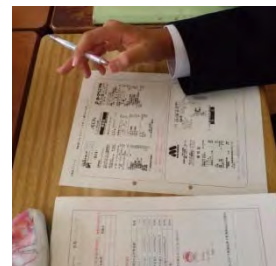
4 授業について

題材名	納税の義務と負担の公平
目標	消費税と所得税を例に課税の仕組みを学習し、負担の公平について多角的・多面的に考察して、税制に対する理解を深めるとともに関心を高める。

6 実践を終えて

(1) 学習後の生徒の感想（ワークシートの振り返りから）

- ・食料品の消費税率は8%，それを除くものは10%であるということを知らなかったの、消費者として自分たちがどのような制度で税を納めているか知ることができてよかった。所得税と累進課税の仕組みは、所得差に応じて納める税額が違うので公平でよいと思った。
- ・消費税の8%の軽減税率は食料品が対象なのが分かった。所得税の計算は平等だと分かった。
- ・消費税率と軽減税率の違いがあまり分からなかったけど、分かってよかった。ただお金を取っているのではなく、しっかり（公平を）考えて取っているんだと思い、少し安心した。
- ・今までレシートはあまり見なかったけど、これからは少しでも見るようにしようかなと思いました。
- ・消費税に対しての問題がいろいろあって驚いた。
- ・100円のものを買ったら税は10円程度なのに家電や車など高価な物を買ったときは何十万もかかるのがなぜなのか分からなかったが、今日学んで税制が工夫されていると思ったし、自分で調べてみようと思う。
- ・所得税の負担は公平で、不公平にならないようにしっかり決められていることが分かった。累進課税は納得できたけど、消費税は税率がだんだん高くなっているから大変だと思った。
- ・消費税の軽減税率はちょっと分かりづらかったけど、所得税の累進課税制度はすごく調整されていていいと思った。
- ・所得税の負担の公平は累進課税によって調整されていることが分かった。
- ・金をたくさん持っている人からたくさん払ってもらって、低所得の人からある程度支払ってもらって累進課税で公平になっているんだなと思った。
- ・累進課税は所得が多い人も少ない人も払うが、おもに多い人が少ない人より少し多く払うのが分かった。
- ・なんか不公平かも・・・と思ったけど、実はたくさんの工夫で、人に合わせて公平につくられていると分かった。
- ・ちゃんと考えられている。細かいところまで。
- ・国民全員が平等になるように工夫されていて、日本は考えてるな～と思いました。累進課税はいいなと思いました。
- ・金は大事だが、税は細かくて難しい。



(2) 成果と課題

- 消費税の公平について、「収入のない子供たちも同じ負担を負うのは不公平だと思う」という意見と「みんなで同じ負担を負うのだから公平だと思う」という生徒の対立意見をもとに、考察を深めることができた。
- ほとんどの生徒から所得税の累進課税制度について理解することができ、税の公平性や平等性に気付いたという振り返りの記述を見取ることができた。
- 経済活動や税に対する関心の希薄さや知識の乏しさが表面化し、多面的・多角的な見方や考え方についても教師の例示に頼りたがる受け身の学習態度を克服するには至らなかった。
- 今後、租税と財政の学習に向けて、来年度予算に関する報道等に関心を向けさせるようにしたい。

税に関する学習ワークシート

<学習の目標> 税負担の公平は、どのようにして調整されているのだろうか？

①消費税の場合

○消費税のしくみ…商品を消費したり、サービスの提供を受けたりする**消費者が負担し、事業者が納税する。**

税率	対象となる商品(レシートを参照)	問題点
消費税率 10%	すべての商品やサービス, 店内飲食の食料品	
軽減税率 8%	持ち帰りの食料品	イートイン脱税

○消費税の公平…消費**一般に広く公平に**負担

②所得税の場合

【所得税の税率表】

○所得税のしくみ

…1年間の課税所得に税率をかけて計算し
所得が多くなるほど段階的に税率を高く
する。

→これを**累進課税**という。

○所得税の公平

…**支払い能力に応じて公平に**負担する。

課税される所得金額	税率
195万円以下	5%
195万円を超え 330万円以下	10%
330万円を超え 695万円以下	20%
695万円を超え 900万円以下	23%
900万円を超え1,800万円以下	33%
1,800万円を超え4,000万円以下	40%
4,000万円超	45%

(例) 税額を計算してみましょう

課税所得が1万円多い B さんは、A さんより何円多く所得税を納めることになりますか？



A さん



B さん

課税所得 **330万円**

331万円

所得税額 **33万円**

~~66.2万円~~ …不公平な税負担

23.25万円

←まちがった計算→

← **正しい計算** →

23.45万円 …公平な税負担

③振り返り

消費税や所得税の負担の公平は、どのように調整されていましたか？軽減税率や累進課税などの語句を使ってまとめてみましょう。

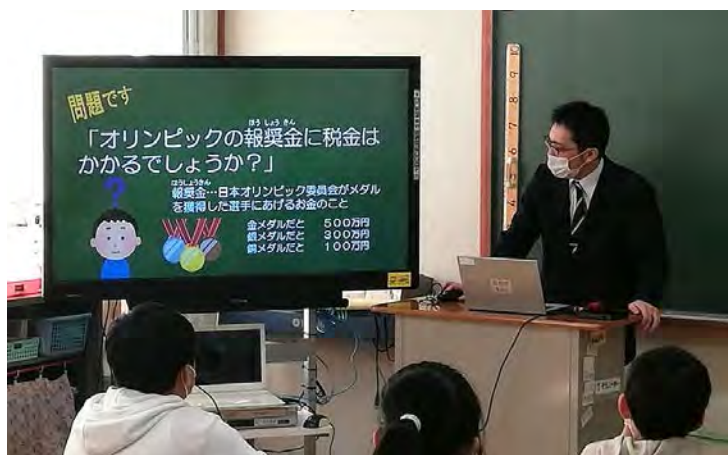
.....

.....

.....

.....

令和2年度 租税教育実践発表会資料



石巻市立湊小学校
相澤 洋之

1 はじめに

日常の安心した営みのためには、国としてたくさんの予算が必要となっている。児童に「税金って、何だろう」と問い掛けると、多くの児童は「消費税」と答える。「消費税はどんなことに使われるの」と重ねて問い掛けると、「みんなのために」「生活のために」「便利になるために」という答えが返ってくる。具体的に、どんな税金があり、どのような仕組みで、どこにどれだけ使われているかを知っていく必要性があると感じる。そこで、6年生の社会科「国の政治としくみ」や「租税教室」と関連付けて指導していくことにした。

2 児童の実態（男子15名・女子12名・計27名）

本学級で、税金に関する以下のアンケートを実施した。（6月）

(1)「税金」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？	
・消費税をたくさん取られている。	・みんなのために、使われている。
・なくなればいい。	・納めないといけない。
(2)「税金」で知っているのは、「〇〇税」ですか？*分かるだけ	
・消費税 ・住民税 ・自動車税	
(3) 税金は何に使われていますか？	
・よく分からない。	・困っている人のため。
・お年寄りのため。	・みんなで使う場所をつくるため。
・道路の補修のため。	・壊れた建物を新たに作るため。

以上のような回答から、児童は学校の整備や教科書など、身近なところで税金が使われているということをあまり意識したことがないことが分かった。また、震災後の復旧・復興には大きな予算が組まれ、税金が使われていることが分かっていた。しかし、どのような税金があり、どのような仕組みになっているのかは、学んでいく必要がある。

今後、税金に対する興味・関心を高め、身近なこととして感じさせ、基礎的・基本的な知識を増やしていけるようにする必要がある。

3 指導に当たって

(1) 税に関する基礎的・基本的な知識の獲得

① 「わたしたちのくらしと税金」の資料を活用

資料は、宮城県租税教育推進協議会、仙台国税局の企画・作成である。表紙にある税金クイズや税金のしくみなどが、イラストで掲載されており、児童にとって、読みやすい資料になっているので、授業や家庭学習などに活用していく。



② 国税庁のホームページを活用

社会科「国の政治としくみ」において、税金に関する資料を収集して調べ、税金の働きを整理する活動を行う。児童にも分かりやすい解説が書かれており、理解しやすい。

「ゲーム・クイズ」や「ビデオライブラリー」などのコーナーもあり、児童の興味・関心を高めるコンテンツが充実している。パソコン教室の共有フォルダを活用し、Word 文書にリンクを貼り付けておき、すぐに検索できるようにする。

国税庁ホームページアドレス www.nta.go.jp

税の学習コーナー 検索

税の学習に便利！【税の学習コーナー】

税の学習コーナー

税の学習についてのアンケートにご協力をお願いします

入門編 (小学生向け) 発展編 (小学生向け) 応用編 (高校生向け) 実践編 (高校生以上向け)

租税教育用教材
租税教育の意義
小学生向け教材(基礎編)で学ぶ
中学生向け教材(基礎編)で学ぶ
高校生向け教材(基礎編)で学ぶ

税の作文
5年生以上、中学生の「税に関する作文」募集
3年生以上「税に関する作文」募集
小学生「税に関する作文」募集
税の作文 (中学生、高校生)

ビデオライブラリー
ビデオ・アニメ
Web3D・TV
(インターネット)動画

ゲームクイズ
みんなで遊んで楽しく学ぼう！
税に関するクイズを体験しよう！
税に関するクイズを体験しよう！
税に関するクイズを体験しよう！

絵本・かみしばい
みんなの暮らしを支えている税金の働きを楽しく学ぼう！
税に関するクイズを体験しよう！
税に関するクイズを体験しよう！

Q&A(よくある質問)
よくある質問
よくある質問

もっと学びたいときは、このページを見てね。

ゲームで楽しく学ぼう！

税のアニメを見る
ことができるよ！

ホームページの画面は、令和元年5月現在のものです(内容は随時更新されます)。

③ ワークシートの活用

選挙と税金のつながりについて、自分自身の考えを明確にしたり、学級で討論したりするときに活用した。ノートは使用せずにワークシートに書き込むことで、話し合いの時間を長く取れるようにした。授業後には、ノートに貼り付けて、振り返りができるようにしている。

国のしくみと選挙 月 日 ()

選挙のしくみや税金の働きについて調べて整理したことをもとに、自分の考えを書きましょう。

P26 選挙のしくみと税金の働き

投票してみよう

あなたならどちらの政党を選ぶか、考えて話し合ってみよう。

各政党の主張 「消費税の増税について」

国民に負担のかかる増税は、するべきではありません。まずは、現在の税金の使われ方を見直すことが大切です。

若年層の人口が増えていて、医療に関する公共的なサービスを維持するために、消費税を増税します。

選んだ理由

税金の集められ方
国民に負担のかかる増税は、するべきではありません。まずは、現在の税金の使われ方を見直すことが大切です。

税金の使われ方

国会議員が決める！

評価 (A ・ B ・ C)
思考・判断・表現

○税金

P43

日本の国の予算(2018年) 国の収入(約99兆円)を公債(借金)で補っている国債が約40%になっています。

収入 99兆円

税金 77兆円

そのほか 10 13

法人税

消費税

社会保険料 34%

地方交付金 16%

教育文化・科学 2%

国債 40%

P51

○ () 税) : 働く人の収入にかかる税

○ () 税) : ものをかたときにかかる税

○ () 税) : 会社のもうけにかかる税

○ 復興特別税

2013年1月1日~2037年12月31日

国民や企業は東日本大震災のための特別な税金を国に納めることになっている。

感想

評価 (A ・ B ・ C) 思考・判断・表現

メモ

(2)「租税教室」の実施

専門知識をもつ、税務署の職員の方から、税金に関する具体的な話を聞いたり、DVD映像を見たりしながら、考えを深めさせていく。また、1億円のレプリカを見たり、重さを確かめたりする活動を通して、お金の大切さを実感させたい。

4 指導計画（4時間）

教科・領域	小単元名・開催名	活動
事前	「税に関するアンケート1」（6月）	
社会	「国の政治のしくみと選挙」①	選挙の仕組みや税金の働きについて調べる。
社会	「震災復興の願いを実現する政治」①	災害復興に向けた国の取り組みを調べる。
	「税に関する標語への応募」①	税金に関する思いを標語で表現する。
総合	志教育「租税教室」① 講師 石巻税務署 財務事務官 三浦 康泰さん	税に関する理解や関心を高める。
事後	「税に関するアンケート2」（10月）	

5 実施後のアンケート調査

授業の実践後に、どのような学びがあり、どんなことを考えたのかを、同じ項目でアンケートした。（10月）

6月実施のときと比べると、「税」へのイメージが広がっており、多くの税金があるということにも気付いてきた。税金の使われ方についても、身近なことに活用されていることも理解し、「必要性」についても考えることができている。

(1)「税金」と聞いて、考えることは？
・大人が働いて払うお金 ・子どもも払うお金 ・国に払うお金 ・政治 ・面倒 ・桜を見る会 ・東京五輪
(2)「税金」で知っているのは、「〇〇税」ですか？
・消費税 ・たばこ税 ・自動車税 ・住民税 ・取得税 ・入湯税 ・固定資産税
(3)税金は何に使われていますか？
・自分たちの教科書 ・病院で診察するとき ・国のため ・警察 ・消防 ・公園 ・国の経済 ・信号 ・町づくり ・インフラ整備 ・みんなのため

6 授業風景「租税教室」



具体的な税金の説明



積極的な授業参加



レプリカ1億円の登場に歓声



1億円の重さを実感

7 成果と課題

(1) 成果

「租税教室」では、専門的な知識をもつ講師の方にお話をいただくことで、税に対する知識を広げることに有効であった。また、分かりやすいDVD教材や1億円の重さ体験などで、興味・関心を大いに高めることができた。さらに、自分たちの生活と税金がつながっていることに気づき、税金の必要性を理解することにつながった。

(2) 課題

今回の学びをこれからにつないでいくために、ニュースや新聞記事にも目を向けさせ、政治と経済についても広げて考えていけるような手立てが必要である。

8 おわりに

「租税教育」を通して、自分の生活にとって、「納税」は必要なことであるということを認識できた。また、社会のしくみと税金のつながりを学ぶことに大変有意義であった。これからも、納税することで、多くの人々が豊かに、そして、快適に生活できることを大切な思いとして、もたせて続けていきたい。

令和2年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立渡波小学校
教諭 佐々木 大樹

1 はじめに

税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものである。次代を担う児童たちが国の基本である税の役割や意義を正しく理解し、主体的に税について考えを深めることは非常に重要なことだと考える。

これまで児童たちは、社会科の歴史分野で「租・庸・調」の税の納め方を学んでいるが、税を納めることが「大変で厳しい」「辛い」といったマイナスの印象をもっていると感じた。

児童たちが住む石巻市の震災復興や、児童たちの身近にある学校や教科書、公園や道路などの当たり前前の環境も税金がなくては成り立たないものであるが、児童たちは税と自分たちの暮らしが密接に関係していることに気付いていない。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金との関わりについて関心をもち、税の大切さ、必要性について考えていけるようにしたい。

2 児童の実態

本学年は、男子22名、女子25名の合計47名の児童が在籍している。事前に税に関する質問を行い、以下のような結果となった。

(1)「税」と聞いてどんなイメージを持ちますか。

- ・税金 ・大変 ・面倒くさい ・辛い ・国のために使われるお金 ・お金 ・消費税
- ・所得税 ・10% ・住民税 ・公務員 ・大切なもの ・国会議員 ・納税の義務
- ・払わないといけないもの ・分からない

(2)「税」の種類で知っているものは何ですか。

- ・消費税 ・所得税 ・住民税 ・たばこ税 ・自動車税 ・酒税 ・分からない

(3)税金はどこに納められていると思いますか。

- ・国会 ・政府 ・国 ・役場 ・市役所 ・財務省 ・国の中心 ・分からない

(4)税金は何に使われていると思いますか。

- ・国民のため ・みんなのため ・先生の給料 ・公務員の給料 ・被災地 ・道路
- ・公民館 ・学校 ・遊具 ・図書館 ・分からない

(5)税金は必要だと思いますか。

- ・必要(多数) ・不必要(数名) ・分からない(小数)

(6)税について知りたいことはありますか。

- ・税ってなんですか。 ・税金は何に使われているのか。 ・税金を減らせないのですか。
- ・誰がどのように税金を使うか決めているのですか。 ・税はどうしても必要なのか。
- ・税はいつからたくさん払うのか。 ・税の種類を知りたい。
- ・1年間にどのくらいのお金が使われるのか。 など

3 指導にあたって

児童の実態から、以下のことに留意して学習を進めていきたい。

○税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

○税が児童たちの暮らしにとって大切な役割を果たしていることを考えられるようにする。

4 社会科との関連

(1) わたしたちの生活と政治

○子育て支援の願いを実現する政治

・税金の働き

○震災復興の願いを実現する政治

・補正予算

(2) 日本の歴史

○天皇中心の国づくり

・律令, 租・庸・調

○戦国の世から天下統一へ

・検地, 年貢

○江戸時代と政治の安定

・百姓一揆

○明治の国づくりを進めた人々

・地租改正

5 指導計画（1時間扱い）

時間	学習内容
時間外	「税に関する質問」 ・税に関する質問を児童に行い、児童の意識を確認する。
1	「租税教室」 ・外部講師による租税教室を通して、税が自分たちの生活に密接に関わっていることや、税の必要性についてまとめる。
時間外	「税について理解を深めよう」 ・租税教室で学習した内容の確認を行い、自分たちの生活と関連させながら税と自分たちの生活が密接に関わっていることを理解する。

6 実践内容【租税教室】


(1) 目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り、税の必要性について理解する。

(2) 実施期日：令和2年10月13日（火）

(3) 対象：石巻市立渡波小学校 第6学年 男子22名 女子25名 計47名

(4) 本時の展開

	学習活動と児童の反応	学習の様子
導入	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分たちの生活と税金のかかわりを考えよう。</p> </div> <p>2 外部講師の紹介 ○石巻税務署の説明</p>	
本時	<p>3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。</p> <p>○「税金」のイメージを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりいいイメージがない。 ・将来お金を払うのは嫌だ。 <p>○税金の種類について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50種類以上あるんだ。 ・消費税や所得税以外にもあるんだ。 <p>○税金はどこに納められているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国税, 地方税…いろいろな種類があるんだ。 <p>○クイズ形式で税金は誰が納めているものなのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になったら…。 ・みんなが納めているんだ…。 ・いろいろな場面で税金が支払われているんだ。 <p>○税金は何に使われているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や教科書にも税金が使われているんだ。 ・道路や市役所, 警察署など多くの物に税金が使われていることが分かった。 <p>4 DVDを視聴し、税の必要性について考える。</p> <p>○「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴し、税金がなくなってしまうと、どのように困るのかを考える。</p>	   

	<ul style="list-style-type: none"> ・税金がなくなると当たり前の生活がなくなってしまう。 ・生活がしにくくなるなあ。 ・道路も自由に通れなくなるんだ。 ・税金って大事ななあ。 <p>○1億円の重さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく重たいなあ。 ・大切に使わないといけないね。 	
ま と め	<p>5 学習のまとめをし、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はなくてはならないものだと思った。 ・税金は必要だ。 ・税金はみんなの生活を豊かにしてくれる。 	

7 租税教室の振り返りカードから

租税教室の授業を受けて分かったことや感じたことを書きましょう。

学校にかかる税金などどのくらいかかるのかわからなかったため、

税金はどのくらい大切かがわかった。

税金は50種類もあることがわかりました。

税金が社会の役に立っていると分かった。

税金はよりよい社会をつくるのが分かった。

税金がないと大変だということが分かった。

税金があることにより、みんなのくらしを支えている

ことが分かった。

租税教室の授業を受けて分かったことや感じたことを書きましょう。

•税金がなくなると暮らしが苦しくなると分かりました。

生活はみんなで助け合っていることが分かりました。

税金は日常に大切な物だと分かりました。

いろいろな物に税金が使われているのが分かりました。

税金は、国民が出しているのは分かっていたけ

ど税金が50種類近くあることや、建物

につかっていることが分かったし、税金がなくなると大

変になることが分かりました。

前まで税金を何のために払っているんだらう？なぜ

税金を払わないといけないんだらう？とか思っていたんです

けどマリンヒヤまとのアニメを見て税金がどれだけ

大切なのが分かりました。税金がなくなると引っこさ

なきゃいけないたり公園などもなくなってしまう

ので大切ななと思いました。

8 まとめ

- 租税教室（ゲストティーチャーによる出前教室）を行うことによって、児童たちが税に対して興味・関心を高めることができ、大変効果的であった。
- 専門的な知識や情報の提供で、「分かった」、「もっと知りたい」という意欲をもつことができた。今後も機会を見つけ、継続的に指導していきたい。
- パワーポイントを活用し、クイズ形式の質問などを児童に行うことで、税金が何に使われているのか、税金の役割や種類について正しく理解し、税と自分たちの暮らしが密接に関係していることに気付くことができた。
- DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」の視聴を通して、税金がなくなった時の生活が不便になること知り、改めて税金が私たちの暮らしを支えていることを理解することができた。
- 税金に対して、漠然とし必要感が無かった児童たちも、租税教室後には47名全員が、「税金は必要だと思いますか」の質問に対して「必要」だと挙手した。
- 1億円のレプリカを全員が重さを体感することによって、お金の大切さや税金の使い道についても考えるきっかけとなった。
- 最後に児童とともに分かりやすく丁寧に税の役割や必要性について、貴重な学習の機会をいただけたことに感謝したい。
- 石巻税務署の職員の皆様、講師の先生方ありがとうございました。

令和2年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立大街道小学校

教諭 鎌田 雅子

1 はじめに

税を納めることは国民の義務として憲法に定められており、税は、私たちが健康で文化的な生活を送るために欠かせないものである。東日本大震災からの復旧・復興にも、多額の税金が使われており、石巻はまさにその力を借りて全力で復興まちづくりを進めている最中である。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金が密接に関わっていることに気付かせ、税金の大切さ、必要性について考えていけるようにしたい。

2 児童の実態

本学級の在籍児童は、男子14名、女子14名、計28名である。新型コロナウイルス感染防止のため長い臨時休業を強いられ、実質6月からが新学年の本格的な教育活動開始となった。

社会科の「国の政治のしくみと選挙」の学習に際し、税金についてどのようなことを知っているか聴き取りをすると、「税金で国民に『布マスク』を配付したこと。」や、「消費税が10%になった。」ことなどを挙げた。当時『布マスク』については、テレビのニュースでもたくさん取り上げられていたので、子どもたちの関心も高いようである。また、子どもたちは日常の買い物を通して、消費税については意識したことがあると思われるが、税金の集められ方には他にも様々な種類があることや、身の回りの様々なことに税金が使われていることなどに気付いていないのが現状である。

3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 社会科の「国の政治の仕組みと選挙」の単元において、国会議員によって国民が収めた税金の使われ方が決められていることを理解する。また「震災復興の願いを実現する政治」の単元において、復旧・復興のために税金が使われていることを理解できるようにする。
- 租税教育用アニメを視聴したり、社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用したりして、税金が国民性の向上と安定のために使われていることを理解できるようにする。

4 指導計画（3時間扱い）

時間	学習内容
1	<u>選挙のしくみや税金の働きについて知ろう</u> 選挙の仕組みを調べることを通して、国会での話合いは選挙で選ばれた国会議員により進められていることや、国会議員によって国民が納めた税金の使われ方が決められていることを理解する。
1	<u>税について理解を深めよう</u> 小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、税金が国民性の向上と安定のために使われていることを理解できるようにする。
1	<u>東日本大震災の復旧・復興に向けての国の取組を知ろう</u> 復旧・復興に向けた政治の働きや予算については、多額の費用が必要であり、その費用として国民からのいろいろな税金が使われていることを理解できるようにする。

5 授業の様子

(1) 選挙のしくみや税金の働きについて知ろう

選挙の仕組みを調べることを通して、国会での話合いは選挙で選ばれた国会議員により進められていることや、国会議員によって国民が納めた税金の使われ方が決められていることを学んだ。所得税や住民税など、消費税以外にも様々な税があることを初めて知ったという児童が多かった。また、近年、選挙で投票する人が減ってきていることが問題になっていることを知り、自分がどのように政治と関わるのかを18歳になる前から考えていくことの必要性を感じている様子が見られた。

(2) 税について理解を深めよう

小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、税金のしくみや使われ方について学んだ。自分たちの生活の多くの場所に税金が使われていることを知り、驚いていた様子が見られた。

授業の最後に、租税教育用アニメ「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴した。このアニメは、「全ての公共サービスがなくなってしまう」という世界を疑似体験した小学生の姉弟が、日常生活を送る上での税金の大切さに気付くというストーリーであった。子どもたちは、アニメを真剣に視聴していた。



「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴



「わたしたちの暮らしと税金」を使って学習

(3) 東日本大震災の復旧・復興にむけての国の取組を知ろう

国が、県や市と協力して復旧を進めるために、国会での話合いを経て補正予算を成立させたことや、これにより仮設住宅をつくったり、水道・ガス・電気などのライフラインを復旧させたりしたことを学んだ。また、復興を速やかに進めるために、国民や企業は復興特別税（2013年1月1日～2037年12月31日）を納めることになっていることも学んだ。

(4) 総合的な学習の時間において

本校の6年生は、総合的な学習の時間に「石巻の復興まちづくり」をテーマに学習を進めている。その中で、石巻市復興政策課の方をお招きし、現在までの復興状況について教えていただいたり、市内見学をしながら復興状況について説明していただいたりした。

その中で、石巻市のこれまでの復旧・復興のためにかかった費用は1兆2259億円である

ことや、その金額すべてが国からの補助であることを教えていただいた。その金額に子どもたちは大変驚いていた。

「国からのお金というのも、すべて税金でまかなわれているんです。みんなの家の人が働いて払っている税金なんです。」

という説明を聞き、

「あ、社会で習った。復興特別なんか！」

と反応する子どももいた。教科書で習ったことが、実際に自分たちの暮らしと深く関わっていることを知り、改めて税金の大切さに気付いた様子が見られた。



市役所の方を招いての出前授業「石巻の復興まちづくり及び復興状況について」



南浜町に建設中の復興祈念公園についての説明を聞いているところ。



日和山から河口付近を見た景色

6 児童の感想

◇ 税金は無くてはならないものだということが分かりました。しかし、税金が高すぎないように調節しなければならないこともこの学習で気付きました。税金は助け合いだと思います。

◇ 私は税金がなくてもいいと思っていました。普通の値段よりも高く払わなければならないからです。でも今は税金があってよかったと思うようになりました。税金がなかったら今の生活が崩れてしまうなと思いました。

- ◇ もし税金がなくなると、自分たちの生活が苦しくなり、まともに生活できなくなると思いました。税金があるから学校で教育を受けられたり、きれいな水を使えたりと、みんなのために税金はあるんだと思いました。
- ◇ 今まではお金の無駄だと思っていたけど、国のためにならいいと思いました。それに国民と国民が助け合うことも大切だと思いました。
- ◇ 税の学習を通して分かったことは、いろいろなところに税金が使われていることと、国民の代表が話し合っただけで税金の使い道を決めていることです。
- ◇ 最初は、税金がない方が物を安く買えるから、ない方がいいと思っていたけど、今は税金がないと大変なことになるんだと分かりました。税金は大切だと思いました。
- ◇ 国を治めるためには税金が大切だと言うことが分かりました。僕たちが今学校で授業を受けているのも、家で食事を食べて過ごしているのも、税金のおかげなんだなと思います。
- ◇ 税金は社会を支えるために使われる大切なお金だと分かりました。脱税はしません。

7 成果と課題

(1) 成果

- 税金があることによって、公共サービスを受けることができ、自分たちの暮らしが成り立っていることを学ばせることができ、税の必要性について考えさせることができた。そのことと同時に、納税の義務を果たすことの大切さについても考えさせることができた。
- 石巻の復旧・復興のために多額の費用が使われていること、その費用は国民が国に納める「復興特別税」でまかなわれていることを学ばせることで、改めて税の大切さについて気付かせることができた。

(2) 課題

- 税についての学習を始める前に、子どもたちに「税に対する意識調査」を行っておくとよかったと思った。「税についての疑問」を挙げさせることで、より主体的に学習に臨ませることができたのではないかと思った。

令和2年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立住吉中学校
教諭 木田 昌子

1 はじめに

国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない公共サービスを提供する国や公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものである。

新学習指導要領「私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割」では、アの(イ)の財政及び**租税の意義、国民の納税について理解すること**については、「財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に取り上げ…(中略)、現役世代のみならず将来世代をも含め、持続可能な社会の形成に資することも念頭に、人々の生活を保障する国民福祉の観点に立って行われるべきものであることを理解できるようにするとともに…

(中略)、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解できるように…(中略)、納税者としての自覚を養うことが大切である」と示している。

租税教育を通して、税の使いみちや必要性を理解させ、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせたい。

2 生徒の実態

租税教育を実践するにあたって、税に関するアンケートを実施した。(23人実施)

問1 税金について、どのようなイメージをもっていますか。

良いイメージのもの

- ・施設や道路を作ったり、直したりするためのもの(2人)
- ・医療費や教育費などに使われている(2)
- ・国を支えるもの(1)
- ・必要なもの(1)

悪いイメージのもの

- ・高い(7)
- ・払わされている(5)
- ・無駄が多い(3)
- ・偉い人が自分のために使っている(2)
- ・面倒くさい(2)
- ・悪いイメージ(1)

その他

- ・国のお金(2)
- ・議員の給料(1)

問2 税金の種類について知っているものはありますか。


消費税(18)、所得税(8)、酒税(5)、たばこ税(4)、相続税(2)、関税(2)、国税(2)、県民税、市町村税、入湯税、固定資産税

問1から、全体的にマイナスイメージが強いことが分かる。「桜を見る会」や「アベノマスク」、議員による収賄罪などのニュースの影響で、無駄に使っていると思っている生徒がいる。自分たちのためにどう使われているかということが理解できていないと考えられる。問2から、自分が払っていることから消費税が圧倒的に多かった。

3 指導にあたって

- (1) 「私たちの暮らしと税」を活用する。
- (2) 税の使いみちについて、正しい知識を身に付けさせ、税の必要性を理解させる。
- (3) 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせる。

4 学習過程

段階	学習活動	学習の様子・指導上の留意点
導入	<p>1 税金クイズ 「私たちと暮らしの税」の表紙のクイズ</p>	 
展開	<p>2 学習課題の提示</p> <p style="text-align: center;">税金はなぜ必要なのだろうか</p> <p>3 もし税金がなかったら (1) 平均的な家計の収支を確認する。</p>	<p>・ 4人家族（夫婦と子ども2人）の平均的な1か月の家計の収支を提示する。 ※総務省家計報告2017年度より</p>

	<p>(2) 税金がなかったら、負担がどれだけ増えるか確認する。</p> <p>①令和2年度の国の歳出から国民1人当たりいくらかを計算し、4人家族で1か月いくらになるかを計算する。</p> <p>歳出102兆6580億円÷1.2億人×4人÷12か月=285,161円</p> <p>②宮城県の令和2年度の歳出の県民1人当たりの負担を4人家族で1か月いくらになるかを計算する。</p> <p>493,300円×4人÷12か月=164,433円</p> <p>③ ①と②を足す。</p> <p>④時間があれば、中学生が2人いる場合、教育費がいくらかかるかを計算する。また、自分のきょうだいの構成についても計算させる。</p> <p>⑤他にも消防や警察も有料になったり、医療費が増えたり、生活に影響があることを伝える。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>共働き世帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>608,497</td> </tr> <tr> <td>世帯主</td> <td>441,141</td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td>137,767</td> </tr> <tr> <td>勤め先以外の収入</td> <td>29,580</td> </tr> <tr> <td>非消費支出（社会保険料や税金など）</td> <td>111,454</td> </tr> <tr> <td>手取り収入</td> <td>497,037</td> </tr> <tr> <td>消費支出合計</td> <td>335,859</td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>75,042</td> </tr> <tr> <td>住居</td> <td>16,915</td> </tr> <tr> <td>光熱・水道</td> <td>20,363</td> </tr> <tr> <td>家具・家事用品</td> <td>10,819</td> </tr> <tr> <td>被服及び履き物</td> <td>14,803</td> </tr> <tr> <td>保健医療</td> <td>11,125</td> </tr> <tr> <td>交通・通信</td> <td>54,455</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>26,781</td> </tr> <tr> <td>教養娯楽</td> <td>33,082</td> </tr> <tr> <td>その他の消費支出</td> <td>72,474</td> </tr> <tr> <td>その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）</td> <td>161,178</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>公立学校の児童・生徒1人当たり年種教育費の税金での負担額（平成29年度）</p> <table border="0"> <tr> <td>小学生 約885,000円/年 1か月当たり 約73,800円</td> <td>中学生 約1,043,000円/年 1か月当たり 約86,900円</td> <td>高校生 約988,000円/年 1か月当たり 約82,300円</td> </tr> </table> <p>義務教育9年間でかかる費用</p> <table border="0"> <tr> <td>小学生</td> <td>約 885,000円×6年間=約5,310,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>約 1,043,000円×3年間=約3,129,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約8,439,000円</td> </tr> </table> <p><small>（参考資料：文部科学省「地方教育費調査」（平成29会計年度）） ※私立学校では、税金により教育費などの一部が補助されています。</small></p> </div> <p>・私たちの暮らしと税P5、8</p>	項目	共働き世帯	収入	608,497	世帯主	441,141	配偶者	137,767	勤め先以外の収入	29,580	非消費支出（社会保険料や税金など）	111,454	手取り収入	497,037	消費支出合計	335,859	食料	75,042	住居	16,915	光熱・水道	20,363	家具・家事用品	10,819	被服及び履き物	14,803	保健医療	11,125	交通・通信	54,455	教育	26,781	教養娯楽	33,082	その他の消費支出	72,474	その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）	161,178	小学生 約885,000円/年 1か月当たり 約73,800円	中学生 約1,043,000円/年 1か月当たり 約86,900円	高校生 約988,000円/年 1か月当たり 約82,300円	小学生	約 885,000円×6年間=約5,310,000円	中学生	約 1,043,000円×3年間=約3,129,000円	合計	約8,439,000円
		項目	共働き世帯																																														
収入	608,497																																																
世帯主	441,141																																																
配偶者	137,767																																																
勤め先以外の収入	29,580																																																
非消費支出（社会保険料や税金など）	111,454																																																
手取り収入	497,037																																																
消費支出合計	335,859																																																
食料	75,042																																																
住居	16,915																																																
光熱・水道	20,363																																																
家具・家事用品	10,819																																																
被服及び履き物	14,803																																																
保健医療	11,125																																																
交通・通信	54,455																																																
教育	26,781																																																
教養娯楽	33,082																																																
その他の消費支出	72,474																																																
その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）	161,178																																																
小学生 約885,000円/年 1か月当たり 約73,800円	中学生 約1,043,000円/年 1か月当たり 約86,900円	高校生 約988,000円/年 1か月当たり 約82,300円																																															
小学生	約 885,000円×6年間=約5,310,000円																																																
中学生	約 1,043,000円×3年間=約3,129,000円																																																
合計	約8,439,000円																																																
終結	4 感想を書く。																																																

5 生徒の感想

- ・これからの日本を支え、将来の子どもたちを育てていくために税金が必要だということが分かった。大人になって所得税を払うようになったらしっかり払う。自分に払った分、将来の子どものために使えるようしっかり働きたい。
- ・税金がないほうが負担が増えることが分かった。税金はなくてはならないものだし、生活していく上で大事なものと分かった。

- ・税金にいいイメージはなかったけれど、生活が楽になっているのだから納めなければだめだと思いました。
- ・税金を知っているつもりになっていたけれど、分からないことが多いと思った。もっと税金について知りたいと思った。
- ・税金にはどんな働きや役目があるのか、誰のために、どう使われているのかを改めて考え直すことができました。なぜ、納めなければならないのかを考え、これからしっかりと納めていかなければならないと思いました。
- ・安全に暮らすために税金が必要なこと、税金がないと救急車を呼ぶのにも大金がかかるので、税金がないと大変だと思いました。
- ・自分1人にもたくさんお金がかかっていたので、税金ありがたうと思った。
- ・税金がないと道路や橋などが整備されず、安全に生活できないことが分かった。
- ・税金の必要性は分かったが、使いみちが今のままで本当にいいのか考えることも大切だと思った。
- ・税金がないと義務教育の時でも、教科書にお金がかかるし、国が回らなくなるし、払わない方が負担が増えるので、税金は必要だと思った。
- ・税金を払っているから多く払っていると思っていた。でも、実は安くすんでいることが分かりました。町がきれいに保っているのも税金のおかげだと思いました。

6 成果と課題

- 小学校のときに見た税の DVD を思い出しながら、税の必要性を考えることができた生徒が多かった。
- 税金の使いみちを理解させることができた。
- 税金が自分たちの生活にどれだけ影響があるかを考えさせることができた。
- 税金に対してのイメージが悪いものから必要なものと変わる生徒が多かった。
- 納税者としての自覚や税について知りたいと考える生徒が増えた。
- 税金がなかったら、水道代や消防車を呼ぶお金などもう少し具体的な数字を上げられたほうがイメージしやすかったと思う。
- 休校期間があり、進度の調整が難しかった。
- 新型コロナウイルスの影響でグループ活動ができなかった。

